

# 民報あばしり

NO.1048

2015.12.13

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
瓦四三・四四五八  
F四三・四四五七

## 保育園の建替え・統合へ

11月30日の文教・民生委員会で、すずらん保育園、たんぽぽ保育園を併設する整備方針が示されました。

「施設の現況として、すずらん保育園（新町1丁目）は昭和53年に建設し36年が経過。たんぽぽ保育園（川向）は昭和57年に建設し32年が経過。

保育園の統合理由は、①適正な集団規模を確保することにより、小学校入学に集団生活になじむことができ、より良い友人関係が築くことができる。

②統合することにより、運営や施設などの管理費の効率化が図れる」との説明でした。

「今後の整備方針は、建設・運営については公募による民設・民営とする。建設場所は、北10条の子育て支援センターに隣接したパークゴルフ場の場所。建設時期は、平成30年度に建設工事をして翌年度から稼働する。」との説明でした。



たんぽぽ保育園



すずらん保育園



北児童館

この統合は、第3次行政改革計画にある事業です。大事なことは、児童福祉法24条「市町村は、この法律及び子ども・子育て支援法の定めるところにより、乳児、幼児その他の児童について保育を必要とする場合において、保育しなければならないならば、責任が異なります。

今回の民設・民営で、その責任を果たすことになるのか問われています。

### 「スタッフの会」からの

### お知らせ

戦争法廃止の2000万署名  
宣伝行動の日程をお知らせします

※署名行動「コープさっぽろ店前」

13日（日）11時より30分間  
20日（日）11時より30分間

※宣伝行動「ベーシック店前歩道」

19日（土）11時より15分間（駒場）  
11時25分より15分間（川向）

## 松浦奮戦も

8日から第3回定例会が始まりました。10日は総務・経済

委員会で所管する補正予算の審査と、マイナンバー制度に係わる条例の議案、「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例制定」、「市税条例の一部を改正する条例制定」、「国民健康保険条例の一部を改正する条例制定」についても審議されます。この問題は、全国で憲法違反だとする裁判が起きる状況にあります。

また、今なお通知カードが届いていない。通知カードの簡易書留が大量に戻ってきているなど様々なトラブルも発生しているのが現状です。また、強制ではなく任意性なのに条例を制定して良いのかなど疑問も出ています。もっと慎重な対応が求められているのではないかと感じています。

## 菊地ひろし

2年ぶりに猫（木彫り）を作ってみました。『木彫りの猫』も「作っておくれ」と、待っているような気がして。自分で言うのもおかしいのですが、猫らしい猫が出来ました。

さて、今年も残り半月となりました。2012年暮れに復帰した「安倍政権」は、私たちに何をしてくれたのか振り返ってみました。2013年秋には国民の強い反対を押し切って、「秘密保護法」を成立させました。2014年7月「集団的自衛権の行使容認」の閣議決定、そして今年9月19日の「戦争法（安保法制）」の強行。10月1日の「防衛装備庁」の発足、いま内閣の口を出してくるのは、『共謀罪』と言う恐ろしい国民を委縮させる法律まで考えています。

こんな安倍政権と闘っているのですから忙しはずです。残り半月、戦争法廃止の2000万署名にみなさんと力を合わせ取り組んでいきます。

## 流水

戦争体験者が少なくなっている今、後世にしっかりと伝えなければと機会があれば話をしている私です。すが最近、戦時中音楽の教師をしていた女性からこんなことを聞いた。それは和音階教育で先生がピアノで色々な和音（ドミソなど）を弾くと生徒がすばやくそれを当てるというもので、子供たちに絶対音階を身に付け豊かな表現力を育てるのが目的だった。音感教育のきっかけは、三国同盟華やかな1938年に軍国ムードをかきたてようとドイツのヒトラー青年団が日本にやってきた。その時ドイツの青年たちが鼻歌でハモるのを聞いた日本の音楽指導者はすぐに文部省を説得し音感教育を始めた。戦争の初期は和音階を練習し「春の小川」や「やしの実」など合唱した▼やがて、国民学校令が「聴音ノ練習ヲ重シクシテ和音等ニ対スル鋭敏ナル聴覚ノ育成ニカムベシ」と発令。本意は聴覚を養い飛行機の音を聞き分けられるようにとの目的だった。和音階を聞きわけることができれば潜水艦や爆音で飛行機の機種や高度を当てることができ、戦争の役に立つと教え込まれ1940年頃には映画「耳と国防、子供と歌」が注目された▼私の小学生時代は斉唱ばかりで勿論、楽器に触れることもない。だから音楽には愛着があり聞くのも歌うのも好きだ。音楽は心をつなぎ楽しくするもの、それを戦争の道具に使い、幼い子どもたちも巻き込んだ戦争。二度と許してはいけない。（U）